

平成30年度 学校経営方針

小平市立小平第二小学校長 細萱 希彦

基本理念

- ・人間としての知・徳・体を育て、よりよく生きようとする意思をもつ子どもの育成を目指す。
- ・学校や地域の実態、子どもの発達段階や特性を考慮して創意工夫し、本校としての特色ある教育課程を編成しその実施に努める。

公教育としての根拠

- ・日本国憲法 ・教育基本法
- ・学校教育法等の法令及び学校指導要領
- ・都・市の教育目標

目指す学校の姿

子ども、保護者、地域から信頼され愛される学校

子ども・保護者・地域の願い

- ・楽しい学校 ・活力のある学校
- ・安全安心な学校 ・開かれた学校
- ・子どもが健やかに成長する学校

開校90周年テーマ

子ども、保護者・地域、教職員の目指す姿

みんな にこにこ 笑顔の二小

「子どもの目指す姿」を実現するために

- 児童が豊かに関わり合う学級経営
- 達成感や成就感を感じさせる授業
- 自他を認め、尊重し合う心の教育

「保護者・地域の目指す姿」を実現するために

- 安全・安心で落ち着いた学校の雰囲気づくり
- 何事にも前向きにチャレンジする気運の醸成
- 保護者・地域と相互に支え合う主体的な連携

「教職員の目指す姿」を実現するために

- 全体の奉仕者としての自覚の徹底
- 教職のプロ・組織人としての自信
- 職務を遂行するための心身の健康

学校教育目標

考える子

自分の考えをもち、判断し、行動できる子

やりぬく子

元気でたくましく、最後まで頑張る子

思いやりのある子 … 重点目標

相手の立場や気持ちを考え、共に生きる豊かな心をもつ子

特色ある教育活動の推進

自立(確かな学力の向上)

- 基礎的・基本的な学力の定着
 - ・校内研究や校内OJTで教員の授業力の向上
 - ・習熟度に応じた少人数指導や個に応じた指導の充実
 - ・「誰にでもわかる授業」の実践
- 言語活動の充実
 - ・各教科等の指導計画に言語活動の位置付け
 - ・「自分の思いや考えを伝える力」の育成
- 自ら学び、考え、行動する力の育成
 - ・主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の実現
 - ・問題解決的な授業、学び合い・高め合う授業の推進



協働(豊かな心の充実)

- 道徳教育の充実
 - ・小平市研究推進校として「考え、議論する道徳授業」の推進
 - ・道徳科と他教科等との関連
- 多様な交流活動の展開
 - ・異年齢の交流活動、若草学級、小平高齢者交流室との交流活動
 - ・開校90周年事業「人と関わり合う教育活動「にこにこ90」の実施
- 勤労・奉仕活動の充実
 - ・勤労の尊さや生涯の喜びを体得する体験的な活動
 - ・協力・協働して取り組む態度の育成
- 読書活動の充実
 - ・読書活動の推進
 - ・読書指導の多様化



自律(たくましく生きる力の育成)

- 健康・安全教育の充実
 - ・自他の生命を尊重し、明るく活力のある児童の育成
 - ・業間体育の充実(長縄・短縄・持久走)
 - ・生涯を通して健康で安全な生き方を実践する能力や態度の育成
- 生活指導の充実
 - ・個性の伸長と社会生活の基本的なルールやマナーの定着
 - ・自己選択・決定の教育機会を通じた自己実現の能力と態度の育成
 - ・家庭・地域との連携の促進



目指せ100%!小平二小の『あいうえお』

①あ い さ つ

②い じ め な し

③う つ く し さ

④え が お

⑤お も い や り

徹底